

令和3年度「ひろしまスタイル定住促進事業」の実施状況等について

1 要旨・目的

県外からの移住者の獲得に向けて、「魅力発信」、「マッチング」、「受け皿づくり」を一体的に展開する「ひろしまスタイル定住促進事業」について、令和3年度の実施状況を報告する。

2 現状・背景

これまでの取組により、移住世帯数は着実に増加し、移住希望地ランキングも上位を維持するまでになっているが、今後も移住世帯数を増加させるためには、移住検討者だけではなく、移住の可能性が潜在的にある層や行政窓口を訪問しない大多数の移住希望者に向けた対策が必要である。

3 概要

(1) 対象者

東京圏を中心とした移住希望者、市町

(2) 事業内容（実施内容）

引き続き、県外からの移住者の獲得に向けて、魅力発信、マッチング、受け皿づくりの取組を一体的に展開した。

コロナ禍における外出自粛等をふまえて、オンラインによるセミナーや個別相談会を頻度高く実施するなど、ウイズコロナの移住動向に対応した形で各種事業を実施した。

ア 広島らしいライフスタイルの魅力発信

(ア) デジタルマーケティングの手法を用いたウイズコロナの移住動向を捉えた情報提供

(イ) 先輩移住者のメッセージ募集企画「ひろしま移住ストーリー2021」の実施及び発信

(ウ) コロナ禍を踏まえ、市町や企業等と連携した移住フェアをオンラインにより開催（4回）

イ 移住希望者と地域のマッチング

(ア) コロナ禍を踏まえた相談窓口の運営として、市町職員・地域のキーパーソンによるオンライン個別相談会を新たに開催（16回）

(イ) AIを活用した相談対応システムの運用・シナリオ拡充

(ウ) 地域と東京人材をマッチングする移住セミナーを、オンラインにより、様々なテーマで頻度高く開催（31回）

ウ 移住者に対する受け皿づくり

(ア) 広島への移住に関心を持った層に対する、現地ネットワーク構築のための現地ツアーを開催（3回）

(イ) 広島県交流・定住促進協議会への参画

(3) スケジュール

—

(4) 令和3年度予算（国庫・単県）

90,549千円（うち国庫5,150千円，単県85,399千円）

(5) 事業効果・検証結果

相談件数，AI 移住相談窓口登録者数，県外からの移住世帯数について，いずれも昨年度を超える結果であったものの，県外からの移住世帯数については，僅かながら，目標達成ができなかった。

区 分		R2 年度	R3 年度	増加率
移住希望地ランキング 2021 (ふるさと回帰支援センター)		2位(セミナー)	1位(セミナー)	—
		6位(窓口)	6位(窓口)	
相談件数(県の東京相談窓口分)		3,812組	4,532組	18.9%
AI 移住相談窓口登録者数(新規)		19,589人	24,470人	24.9%
県外からの 移住世帯数	県・市町移住施策捕捉分	220世帯	234世帯	6.4%
	ウェブ上の移住促進システム把握分	199世帯	250世帯	25.6%
	合 計 (目標)	419世帯 (403世帯)	484世帯 (487世帯)	15.5%

(6) 今後の対応

県外からの移住者の獲得に向けて，引き続き，「魅力発信」，「マッチング」，「受け皿づくり」の取組を一体的に進める。

4 その他

(1) 移住専用サイト「HIROBIRO.」

<https://www.hiroshima-hirobiro.jp/>

(2) AI を活用した相談対応システム

<https://www.hiroshima-hirobiro.jp/abi/>

(3) 先輩移住者のメッセージ募集企画「ひろしま移住ストーリー2021」

<https://www.hiroshima-hirobiro.jp/ijyukikaku/>